

# いまこそ基地撤去のとき

## 野田内閣は辺野古新基地の断念を

米軍再編の見直しとは

日米両政府は2月8日、2006年の米軍再編ロードマップで、辺野古移設と「パッケージ」としてきた在沖海兵隊のグアム移転について、方針を見直して先行させることなどを発表しました。

今回の見直しは、日米両政府がすすめてきた米軍再編計画が、辺野古新基地に反対する沖縄のたたかいによって深刻な破綻に直面していることを示しています。同時に、アメリカは中国封じ込めをねらって、グアムを新たな拠点としたアジア太平洋での米軍再配置計画を急ぐために、今回の見直しに踏み切ったものです。この計画見直しにおいてもアメリカは、「負担軽減」といいながら、「普天間固定化」で沖縄県民を脅して辺野古移設をひきつづきねらい、あくまで沖縄を軍事拠点として維持しようとしています。

このようなアメリカの要求に無条件に追随し、沖縄県民の意思を踏みにじる民主党政権の対応は許せません。私たちは、政府が、辺野古新基地建設を断念するとともに、普天間基地の無条件撤去の立場でアメリカと交渉するよう求めます。



### 危険なオスプレイ 配備をやめさせよう!



### 全国紙・沖縄2紙

### 意見広告賛同募集中

日米両政府が「辺野古」が進まない限り固定化すると脅している普天間基地にアメリカは今年の夏から新しい大型輸送機のオスプレイを24機も配備しようとしています。オスプレイは、開発段階から墜落を繰り返している欠陥機で、宜野湾市議会や沖縄県議会でも全会一致で反対決議が上げられています。

オスプレイは、沖縄の各基地だけでなく、山口県の岩国基地など本州の米軍基地でも運用される可能性があり、全国的な大問題です。

住民は静かで安全な生活を求めています。オスプレイ配備反対の声をあげ、無謀な計画の中止を求めていきましょう。

**本土復帰40年、基地のない沖縄を!**

辺野古新基地建設反対・普天間基地撤去  
日本のどこにも米軍基地はいらない

全国紙 沖縄2紙

## 意見広告

への賛同を呼びかけます!

私たちは、辺野古新基地、高江ヘリポート建設に反対します。普天間基地の即時・無条件撤去を求めます。政府は、沖縄県民・国民の意思をふまえ、いまこそ基地撤去まで対米交渉を〜たくさんの賛同をおまちしています〜

【印刷費】 全国紙・沖縄2紙に全国版刷出版  
【送 費】 意見広告費には「送料」と「印刷費」を別払い、必ずお支払いください。  
【印刷代】 印刷代は4月20日までに登録された団体名を掲載。  
【印刷費】 団体15,000円、個人1,000円以内(送料別)でも可。  
【申し込み期限】 2012年1月5日  
【印 刷】 意見広告実行委員会  
【問い合わせ先】 安保破棄中央実行委員会、安海会(沖縄) ※文字多量印刷は別途見積

安保破棄中央実行委員会 Eメール [anpohaiki@nifty.com](mailto:anpohaiki@nifty.com)  
TEL 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765

2012年  
2月